

平成27年度

# 福島議定書 (従来編)

福島県知事 様

わたしたちは、温室効果ガスの排出量(二酸化炭素換算)を基準年(平成 \_\_\_\_年)より  %  
減らすことを目標に、以下のような取組を実施します。

平成24,25,26年より選択する

## 節電

## 節水

## 使用燃料の削減

## 温暖化対策の取組意識向上のための工夫

## 職場交通マネジメントの取組(クルマ通勤からの転換)

【積極的な取組をお願いします】

## ゼロエミッションの取組(廃棄物ゼロ)

【積極的な取組をお願いします】

事業所名

代表者(職・氏名)

知事の署名

印

## ● 貴事業所の概要について御記入ください ●

事業所名	
住所	〒            —

担当者	部署		氏名	
	電話番号			
	FAX番号			
	Eメール			

事業種別 部門 ※いずれかに 「○」		オフィス・店舗等	取組事業所数	※複数の事業所が一体となって取り組んでいる場合は、 団体部門の対象となります。 (事業所名の一覧表(様式任意)を添付してください。)
		製造業等		
		運輸・設備業・その他		

取組期間 ※いずれかに 「○」		6ヶ月	5月～10月	従業員数	人
		5ヶ月	6月～10月		
		4ヶ月	7月～10月		
		3ヶ月	8月～10月		
		2ヶ月	9月～10月		
公表希望		事業所名について 県の各種広報媒体での 広報を希望しない場合は 「×」を記載してください。			

省エネ アドバイザー 派遣 ※いずれかに 「○」	福島議定書 省エネアドバイザーの派遣を	エコドライブ 講師派遣 ※いずれかに 「○」	エコドライブ講師の派遣を
	希望します		希望します
	希望しません		希望しません

※希望する事業所へは、省エネアドバイザー及びエコドライブ講師派遣に関する資料を別途送付します。  
 ※希望する事業所が多数の場合には、要望に添えない場合があります。

「みんなで エコチャレンジ 家庭版」の 参加について	「みんなでエコチャレンジ家庭版」の応募用紙を従業員の皆様に配布し、 家庭での取組も進めましょう。 なお、応募用紙については送付先住所、希望枚数を記入の上、 下記メールアドレスまで御連絡ください。 希望枚数を郵送します。   メール:ontai@pref.fukushima.lg.jp
-------------------------------------	--

本様式の電子データ(エクセル、PDFファイル)は、  
福島県環境共生課のホームページに掲載しています。

# 平成27年度 福島議定書(従来編) 取組結果報告書

事業所名		<b>■提出期限</b> 平成27年 <b>11月30日</b> <b>■提出先</b> ●福島県庁 環境共生課 〒960-8670 福島市杉妻町2-16 FAX 024-521-7927 メール ontai@pref.fukushima.lg.jp ●最寄りの地方振興局				
電話番号						
担当者名						
取組期間	ヶ月	月～	月	基準年	平成	年

## ●温室効果ガス排出削減量

(1)事業所における削減量 (参考)取組事業所数	二酸化炭素 排出係数①	基準年		平成27年		削減量	
		事業所	事業所	事業所	事業所	事業所	事業所
		使用量②	二酸化炭素排出量③ ①×② kg-CO <sub>2</sub>	使用量④	二酸化炭素排出量⑤ ①×④ kg-CO <sub>2</sub>	使用量 ②-④	二酸化炭素排出量 ③-⑤ kg-CO <sub>2</sub>
電気 (kWh)	0.56						
水道 (m <sup>3</sup> )	0.58						
ガソリン (リットル)	2.3						
軽油 (リットル)	2.6						
灯油 (リットル)	2.5						
A重油 (リットル)	2.7						
(その他)							
(その他)							
合計	-	-	(A)	-	(B)	-	(C)

※裏面の「月別使用量」の合計を「使用量」欄に記入してください。  
 ※記載のない燃料を使用している場合には、(その他)欄に記入してください。  
 ※基準年と取組年度の事業所数が異なる場合には、参考としてそれぞれの事業所数を記入してください。  
 ※製造業の事業所においては、原単位(生産量当たりの温室効果ガス排出量)による報告でも可とします。

削減率 $C/A \times 100$	%
-------------------------	---

## (2)職場交通マネジメント(クルマ通勤からの転換)による削減量

裏面の「クルマ通勤をしなかったことによる二酸化炭素排出削減量」の合計数値を記入してください。	取組人数	平成27年削減量(単位:kg-CO <sub>2</sub> )
	人	

●「みんなでエコチャレンジ家庭版」の参加状況 **応募用紙の配布枚数** 枚

●ゼロエミッション(廃棄物ゼロ)の取組状況 ※取組内容を記入してください。(資料添付可)

<b>取組内容</b>	
-------------	--

●社会貢献活動 ※社会貢献活動の取組内容を記入してください。(資料添付可)

<b>取組内容</b>	
-------------	--

## ●特記事項

<b>取組内容</b>	・貴事業所で取り組まれている内容について(工夫した点など)審査の参考としますので自由に記入してください。 ・記入欄が不足する場合は、任意の様式に記入の上添付してください。 ・その他、使用した資料(環境マネジメントシステムの報告書)や提供可能な写真などがありましたら併せて提出してください。
-------------	--

● 月別使用量

	基準年							平成27年						
	5月	6月	7月	8月	9月	10月	計	5月	6月	7月	8月	9月	10月	計
電気 (kWh)														
水道 (m <sup>3</sup> )														
ガソリン (リットル)														
軽油 (リットル)														
灯油 (リットル)														
A重油 (リットル)														
(その他)														
(その他)														

※フロン排出抑制に関する取組による削減量はその他の欄に記入してください。

■ 職場交通マネジメントによる二酸化炭素排出削減量の算出方法

\*ガソリンの二酸化炭素排出係数 2.3(kg/ℓ)  
\*自動車の標準的な燃費 10(km/ℓ)とする

- マイカー通勤から公共交通機関等、他の交通手段へ転換した場合の二酸化炭素削減効果の算出方法

$$2.3(\text{kg}/\text{ℓ}) \times \text{【A】通勤距離(km)} \div 10(\text{km}/\text{ℓ}) \times \text{【B】クルマを使用せず通勤した日数}$$

- 各従業員の二酸化炭素排出削減量の合計=事業所における二酸化炭素排出削減量

● クルマ通勤をしなかったことによる二酸化炭素排出削減量

従業員	【A】通勤距離 〔往復〕(km)	クルマ通勤をしなかった日数							削減量(kg-CO <sub>2</sub> ) 2.3(kg/ℓ) × 通勤距離(km) ÷ 10(km/ℓ) ×クルマを使用せず通勤した日数
		5月	6月	7月	8月	9月	10月	【B】計	
1								2.3 × 【A】 ÷ 10 × 【B】	
2									
3									
4									
5									
合計	-	-	-	-	-	-	-	削減量 合計	

■ 審査項目 ※平成27年度の表彰に当たり、下記の項目について審査を行います。

- 事業所における温室効果ガス排出削減量・削減率
- 職場交通マネジメント(クルマ通勤からの転換)による二酸化炭素排出削減量
- ゼロエミッション(廃棄物ゼロ)の取組状況
- 「みんなでエコチャレンジ家庭版」の参加状況
- 温室効果ガス排出削減に向けた意欲的な目標設定
- 温室効果ガス排出削減目標の達成状況
- 社会貢献活動
- 取組内容の工夫、取組手法の多様性 等